

下関市指定無形文化財

神事

龜山能

日時

令和7年10月19日(日)

午前11時 神事 翁渡式

正午 開場

午後1時30分 龜山能

場所

龜山八幡宮

下関市下町二ー 電話083-261-1333

拝観料

四、〇〇〇円

拝観券は龜山八幡宮、プレイガイド／シーエール4F
下関商業開発、市民会館、能楽関係者等にのみあります。

拝観券の申し込みは
こちらから可能です。



主催／ 龜山能楽会

後援／

下関市・下関市教育委員会

下関市文化振興財団

下関商工会議所・下関市文化協会

下関観光コンベンション協会

KRY山放送・tvoyテレビ山

Yab山口朝日放送

読売新聞西部本社・朝日新聞社

毎日新聞社・山口新聞社

J:COM下関(順不同)

能 (観世流)

「鉄輪」

狂言(大藏流)

「昆布売」

仕舞(観世流)

特別協賛 山口合同カス株式会社

写真・動画・録音すべての記録行為を禁止します。

ごあいさつ

下関市指定無形文化財・亀山能は西日本有数の神事能で、豊臣秀吉公が奉納して以来、四百三十数年故実正しく格式高く伝えられ、亀山八幡宮秋季大祭を式日として厳肅盛大に催されています。

関係各位のご尽瘁と、重要無形文化財能楽（総合指定）保持者の能楽師の方々により催能致し、また演能の前には豊亀会、亀山能楽教室の方々による謡・仕舞がございます。

皆様お誘い合わせのうえ、秋のひとつき幽玄なる亀山能をご鑑賞下さい。

亀山能楽会 会長 山本 徹

神事 翁渡式

（御神前 午前十二時）

神歌

（翁）大江 信行 （千歳）谷 弘之助

（地謡）

田中 岱三
宮本 隆吉
古橋 正邦
宮本 茂樹
中野 昭夫

亀山能

（儀式殿 午後一時半）

（解説）

「本日の能について」

鷺尾世志子

（仕舞・観世流）

弓 八幡	大江 広祐	谷 弘之助
花 筐狂	大江 信行	橋本 忠樹
鞍馬天狗	大江 泰正	古橋 正邦
		河村 和貴

（狂言・大蔵流）

昆布売

（大名 中島 清幸

（昆布売 秋吉 英二

（後見）波田 昭典

〈休憩 二十分〉

（能・観世流）

鉄輪

前シテ（都の女）
後シテ（前妻の生霊）

宮本 茂樹

輪

ワキ（安倍晴明）小林 努
ワキツレ（夫 宝生 朝哉

間 （社人 河原 康生

白坂 保行 吉谷 潔
幸 正佳 相原 一彦

（後見）鷺尾世志子
大江 信行

（地謡）宮本 隆吉 河村 和貴
大江 広祐 味方 團
大江 泰正 橋本 忠樹

附 祝 言

終演 午後四時半頃

あらすじ

狂言 昆布売（こぶうり）

大名が街道で昆布売りに会い、太刀を持ってくれと命じますが、昆布を肩に担いで商い中だから手が空かないといって断られます。それに怒った大名は、太刀を抜き、持たなければ殺すと脅かし強引に持たせてしまいます。ところが、途中、昆布売は隙を窺い、持った太刀を抜いて逆に大名を脅し今度は昆布を売れと命じます。それからは昆布売にいいように振り回されてしまいます。

強者が権威をふりかざし横暴な振舞いをし、後に弱者が隙を見て知恵を働かせ権威を失墜させてしまい、散々に翻弄する痛快な物語です。

能 鉄輪（かなわ）

ある夜、貴船神社の社人に丑の刻参りをする女に神託を伝えよとのお告げがありました。社人は真夜中、自分を捨て後妻を持った夫に復讐するため丑の刻参りをしている女に会い、その神託を告げると段々と怖くなって逃げ去ります。神託通りにしようと決意した女はみるみる姿が変わり、あたりは雷鳴が轟き、恨みを思い知らせん、と駆け去るのでした。その女の元夫は毎晩悪夢にうなされ、陰陽師の安倍晴明に相談します。晴明は前妻の呪いだと言ひ、今日で命が終わると予想します。そこで夫の家に祈祷棚を設け夫と新しい妻の人形（ひとがた）を作って祈り始めます。すると鬼となった前妻が現れ、形代に襲いかかりますが、祈祷による神力で退散させられるのです。